

第2回 STAMP ワークショップ発表概要

タイトル

プロジェクト管理における動機づけに着目した STAMP/STPA の適用
Applying STAMP/STPA to project management focusing on motivation

著者・発表者

長崎県立大学 日下部 茂
University of Nagasaki Shigeru Kusakabe

概要

プロジェクト管理においては様々なステークホルダや成果物間の依存関係を把握した上で、適宜それらの間の相互作用をモニタリングしながら必要な制御を行う必要がある。STAMP/STPA はシステムを構成するコンポーネントやサブシステムが人や組織であっても適用可能であることに着目し、発表者は、プロジェクト管理の制御構造を STAMP によってモデル化し、STPA で問題点を分析した上で、構造の適正化や運用指針の策定を行うアプローチを提案する。一見適切に見える制御構造だとしても、構成する制御の中に確実に実行される保証がないものがある場合は何らかの考慮が必要である。プロジェクト管理の制御構造のうち組織や人がかかわる部分は特にそのような制御が多いことが予想される。本発表では、プロジェクト管理における STAMP/STPA の活用のうち、特に、実行者の動機づけ状態にその実行が依存している制御の分析に、組織論的期待モデルをベースにしたモデルと STAMP/STPA を組み合わせて用いる方法を提唱する。

キーワード

- (1) プロジェクト管理
- (2) 動機づけモデル